

学生観光論文コンテスト〈応募要項〉

- 目的** 将来の観光業界のリーダーとなる若者の育成を通じて、日本政府ならびに観光庁の観光政策をサポートする
- 論文テーマ** 下記三つのテーマの中から一つを選択
A)観光立国で日本を元気にする方策について、私の提案
B)観光資源保護におけるナショナル・トラスト活動の役割について、私の提案
C)新しい東北観光の在り方とその波及効果について、私の提案
- 応募資格** 日本国内の大学・短大・専門学校に在籍する学生
 学部・専攻、個人・グループは問いません
 ※大学院生は対象外とさせていただきます。
- 賞** **最優秀賞** … 1編 賞金50万円(税込)
優秀賞 … 2編 賞金25万円(税込)

募集期間 2012年10月1日(月)～11月30日(金)必着

発表と表彰 2013年2月、受賞者の表彰式を開催予定。
 ご本人に通知すると共にホームページで公開します。

応募方法

8,000字以上12,000字以内、日本語表記で未発表のもの。
 マイクロソフトのワードを使用。書体はMS明朝体、本文は10.5ポイントを指定。
 表やグラフの挿入は可能ですが、字数には含みません。
 A4用紙に印刷したものを下記まで郵便(簡易書留)または宅配便にて送付ください。
 ※受賞者には、後日、ワードデータを送信していただきます。

ご送付頂くもの

- プリントした原稿
- 名前、学校名、学年、連絡先(住所・電話番号・メールアドレス)を明記した書類

ご送付先

〒164-0003 東京都中野区東中野3-15-14
 財団法人日本ホテル教育センター
 「学生観光論文コンテスト係」まで

お問合せ先

財団法人日本ホテル教育センター 事業部 教育事業室

TEL 03-3367-5663

メール support@jec-jp.org

〒164-0003 東京都中野区東中野3-15-14 FAX: 03-3362-5940 ホームページ: www.jec-jp.org

主催 財団法人日本ホテル教育センター
 共催 公益財団法人日本ナショナルトラスト
 協賛 社団法人全日本シティホテル連盟
 後援(予定) 観光庁
 社団法人日本ホテル協会
 社団法人日本観光振興協会
 社団法人日本観光旅館連盟
 一般社団法人国際観光旅館連盟

コンテストを主催する

財団法人日本ホテル教育センターとは...

財団法人日本ホテル教育センターは、ホテル業に従事する優秀な人材を養成することにより、ホテルにおける接客の充実とホテル業の発展を図り、観光事業の振興に寄与することを目的として、1976年(昭和51年)に運輸大臣(現観光庁長官)の許可により設立されました。

当財団は、優秀なホテリエ養成のための調査研究や教育システムの整備、教材開発、ホテル関連図書・文献等の収集、ホテル経営者・従業員に対する再教育・研修活動等を積極的に展開しています。

活動

主な活動は下記の通りです。

- ①ホテルビジネス実務検定試験(H検)の年二回実施～11月と3月
- ②和食検定試験の年二回実施～10月と2月
- ③ホテル産業人育成のための基本教育テキストの発行
- ④ホテル産業経営塾の運営
- ⑤MICE(マイス)塾の運営
- ⑥ホスピタリティ教育研究会の開催
- ⑦ホテルマネジメントシミュレーション(HMS)の受託運営
- ⑧ホテルオペレーションプログラム(HOP)の受託運営

①ホテルビジネス

実務検定試験(H検)

H検(Hotelier Proficiency Test)は、総合的な資格制度として、ホテルの実務知識の体系的理解度を測定するための評価基準となる教育プログラムです。当財団がホテル業務の調査、資格制度の研究を経て開発、1998年にプレテストを実施、1999年から公式に実施しております。

②和食検定

和食検定は、日本の食文化を正しく理解し、正しく伝えるための基礎知識の普及と、和の食文化を継承、発信していくために必要な専門知識と実務知識の理解度を測るための筆記試験です。

③教材開発

当財団は、40冊を超える「ホテル産業人育成のための基本教育テキスト」を発行しており、現在全国100以上のホテル企業、大学、専門学校などの教材として使用されています。テキスト開発に当たって、「ホテル業の職務に関する実態調査」を行い、独自のナレッジスタンダードを確立。



コンテストを共催する

公益財団法人日本ナショナルトラストとは...

公益財団法人日本ナショナルトラストは、国民的財産である美しい自然景観や貴重な文化財・歴史的環境を保全し、利活用しながら後世に継承していくことを目的に、英国の環境保護団体である「ザ・ナショナルトラスト(The National Trust)」を範として、1968年12月に設立されました。当財団では、市民参加による保護活動を積極的に行っています。

活動

主な活動は下記の通りです。

- ①国民的財産として後世に継承するに足る文化財やすぐれた自然の風景地など観光資源の保護・管理・活用
- ②観光資源に関する調査研究事業
- ③会報誌や調査報告書などの書籍の発行・配布
- ④地域の自然・歴史的資産を活かしたまちづくりの拠点となるヘリテイジセンター建設・運営
- ⑤環境保護や観光資源の活用など様々なテーマによるシンポジウムや講演会、見学会の開催

東日本大震災 自然・文化遺産復興支援プロジェクト

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、地域(まち)にとって“シンボル”となるような多くの自然・文化遺産に甚大な被害を及ぼしました。広域にわたる被災により存続の危機に瀕し、また国等の公的支援が十分に及ばないものが少なくありません。

当財団では被災した地域(まち)の“シンボル”である自然・文化遺産の復旧・復興を支援することにより、地域風土に根差した暮らしを取り戻すとともに、観光資源としての保護・活用への礎を築くために「自然・文化遺産復興支援プロジェクト」を実施しています。

プロジェクト対象
(一例)



菊池拝郎文庫蔵(岩手県花巻市)



諸戸獅子舞(福島県浪江町)



尾形家住宅(宮城県気仙沼市)